

2025年2月12日

スポーツを通じて未来人材の成長を支援するチャレンジ支援事業  
「YMFS スポーツチャレンジ(体験/研究)助成」  
**2025年度(第19期生)助成対象者30件を決定**

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(Yamaha Motor Foundation for Sports)は、2025年度(第19期生)「YMFS スポーツチャレンジ(体験/研究)助成」について、体験助成15件、研究助成15件、計30件(総額2,811万円)の助成対象者を決定しました。助成金贈呈式は、2025年3月中旬に実施します。

本助成制度は、目標を掲げ達成に至るまでのプロセスを重視しています。四半期報告、中間報告会、成果報告会によるPDCAサイクルを実践しながら、高い専門性を持った審査委員からのアドバイスや、オンラインも活用したサポートなど、成長機会を提供する支援プログラムが特徴です。

2025年度の助成対象者も若い未来人材が多く集まりました。今年度も助成対象者が成長のために学び、刺激し合う機会と、チャレンジを加速するサポートを提供します。

**2025年度(第19期生)の助成概要** ※活動期間は、2025年4月から2026年3月

プログラム	申請件数	採択件数	助成金額(計)
スポーツチャレンジ体験助成	53件	15件	1,480万円
スポーツチャレンジ研究助成	28件	15件	1,331万円
計	81件	30件	2,811万円



※この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。(担当: <sup>みすみ</sup>三角)

[www.ymfs.jp](http://www.ymfs.jp)

公益財団法人 ヤマハ発動機スポーツ振興財団 (YMFS)

〒438-8501 静岡県磐田市新貝 2500  
TEL : 0538-32-9827 FAX : 0538-32-1112

Yamaha Motor Foundation for Sports (YMFS)

2500 Shingai, Iwata, Shizuoka, 438-8501 Japan  
Tel: +81 538 32 9827 Fax: +81 538 32 1112

## 2025 年度(第 19 期生)スポーツチャレンジ体験助成 対象者一覧 (2025 年 2 月 1 日現在)

「体験助成」は、アスリート・指導者・審判など各種体験活動に対して助成金を交付するもので、3 つのカテゴリで構成しています。

- ジュニア(上限 50 万円):ジュニア世代の国際大会で実績を有する者
- ベーシック(上限 100 万円):国際レベルでの活躍を目指す者
- アドバンスド(上限 150 万円):国際レベルの実績を有する者

※五十音順

区分	氏名	種目	チャレンジテーマ
ジュニア	ふるさわ りく 古澤 陸	レスリング/選手	2025 年 U15 アジア選手権・U17 世界選手権で優勝し、ブリスベン五輪出場を目指す
	やすい えいじゅん 安井 栄純	体操競技/選手	2028 年ロサンゼルス五輪で団体・個人金メダル獲得
ベーシック	いわた れいな 岩本 鈴菜	フェンシング(フルーレ)/選手	2028 年ロサンゼルス五輪でメダル獲得
	おおしま たくと 大島 拓人	トライアスロン/選手	2032 年ブリスベン五輪で、日本人初のメダル獲得
	おおはら けいしん 大原 慶心	テコンドー/選手	アジアジュニア選手権・国際大会でメダル獲得
	おのざわ し ま 小野澤 志真	ラグビー/選手	ラグビー日本代表選手として 2031 年 W 杯に出場し、世界の舞台で活躍する
	かくたに たい き 角谷 太樹	体操競技/選手	2028 年ロサンゼルス五輪で金メダル獲得
	くろやま じん 黒山 陣	モータースポーツ(トライアル)/選手	トライアル世界チャンピオンになる
	こにし はると 小西 陽人	ウインドサーフィン/選手	2025 年 BOYS 部門(U18)で世界ランキング 3 位以内、国際大会上位入賞を目指す
	ちげ あやね 地下 綾音	スノーボードアルペン/選手	全日本選手権優勝、ワールドカップ出場
	ちば あつき 千葉 忠輝	フェンシング(フルーレ)/選手	2028 年のロス五輪を目指し、国際大会上位入賞
	ツェンガーマーク	サッカー/選手	2025 年 U17 サッカーワールドカップ出場
	まつむら ようた 松村 陽太	アイスホッケー/選手	NCAA から NHL の選手となり、世界の舞台で活躍する
アドバンスド	ながす ももか 長洲 百香	カヌースラローム/選手	U23 世界選手権のスラローム決勝出場、カヤッククロス入賞
	なぐさ あきら 名草 慧	ハンググライダー/選手	アジア人初のハンググライダー世界チャンピオンを目指して

## 2025年度(第19期生)スポーツチャレンジ研究助成 対象者一覧 (2025年2月1日現在)

「研究助成」は、スポーツにかかわる学問、研究活動に対して助成金を交付するもので、2つのカテゴリーで構成しています。

- 奨励(上限 60 万円): 大学院博士課程に在籍中または学位未修得の若手
- 基本(上限 120 万円): 研究職として活動に従事する研究者

※五十音順

区分	氏名	分野	チャレンジテーマ
奨励	いつだ ひかり 巖田 光里	自然科学	収縮時の股関節深部筋に着目した筋機能と関節安定性の関連解明
	いなば たける 稲葉 健		高強度運動と中強度運動の併用による骨格筋の糖・乳酸代謝適応の解明
	さいとう りく 斉藤 陸		完全損傷前十字靭帯を自己治癒に導く保存的治療確立と靭帯自己治癒メカニズムの解明
	まつむら てつぺい 松村 哲平		トレーニング応用に向けたカフェインと運動誘発性筋損傷の関係の解明
	とみす はやと 戸簾 隼人	人文社会	社会学・心理学的な視点による、地域政策主導のサイクルツーリズムの継続性の検証
	にった りかこ 新田 梨花子		近世薩摩の武士のスポーツ文化における「男色」の役割と変遷を明らかにする
基本	いちかわ じゆん 市川 淳	自然科学	局面を変える選手交代: パフォーマンスを高める連携の情報処理モデルの解明と実践
	かわま らき 川間 羅聖		筋カトレーニングによって筋肥大の個人差が生じる要因の解明 -骨格筋の有するユニークな筋線維走行に着目して-
	しみず じゆんや 清水 純也		胎盤・骨格筋連関から探る「運動適応性の個体差」の起源
	はやし かずひろ 林 和寛		なぜ運動トレーニング後の筋痛を強く感じる者がいるか
	みつはし りき 三ツ橋 利彩		女性アスリートに特化した熱中症対策の構築
	むらもと ゆうき 村本 勇貴		呼気ガスからの揮発性酸化脂質を用いた水素ガスによる疲労軽減効果の解明
	もりなが こうすけ 森永 浩介		ジュニアパラアスリートのための革新的な低コストのクラウチングスタート用前腕義手: 3D プリンティング技術による経済的障壁の軽減
	ひらつか たくや 平塚 卓也		人文社会
	よしざわ なお 吉沢 直	気候モデルを用いた将来における日本全国のスキー場の生存可能性評価	